

単位、修士論文審査基準、修了要件及び取得可能学位（大学院）

1. 東海学院大学大学院 人間関係学研究科 カリキュラム

臨床心理学専攻（令和7・6年度入学対象）

科目区分	授業科目	期間	単位			必修 選択
			講義	演習	実習	
臨床心理学 基礎科目	臨床心理学特論	通年	4			必修
	臨床心理面接特論Ⅰ（心理支援に関する理論と実践）	半期	2			必修
	臨床心理面接特論Ⅱ	半期	2			選択
	臨床心理査定演習Ⅰ（心理的アセスメントに関する理論と実践）	半期		2		必修
	臨床心理査定演習Ⅱ	半期		2		選択
	臨床心理基礎実習	通年			2	必修
	臨床心理実習Ⅰ（心理実践実習Ⅱ）	通年			4	必修
	臨床心理実習Ⅱ	通年			2	必修
臨床心理学専門科目	A	心理学研究法特論	半期	2		選択
		心理統計学特論	半期	2		選択
	B	発達心理学特論	半期	2		選択
		学習心理学特論	半期	2		選択
	C	犯罪心理学特論（司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開）	半期	2		選択
		家族心理学特論（家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践）	半期	2		選択
	D	精神医学特論（保健医療分野に関する理論と支援の展開）	半期	2		選択
		障害者（児）心理学特論（福祉分野に関する理論と支援の展開）	半期	2		選択
	E	投映法特論	半期	2		選択
		グループ・アプローチ特論	半期	2		選択
		心理療法特論	半期	2		選択
		学校臨床心理学特論（教育分野に関する理論と支援の展開）	半期	2		選択
心理実践 科目	産業・労働分野に関する理論と支援の展開		半期	2		選択
	心の健康教育に関する理論と実践		半期	2		選択
	心理実践実習Ⅰ		通年		2	選択
研究指導	課題研究Ⅰ		通年		2	必修
	課題研究Ⅱ		通年		2	必修

- 履修すべき最低単位は、30単位とする。
- 「課題研究Ⅰ」は1年次、「課題研究Ⅱ」は2年次に履修すること。
- 長期履修を認められた学生は、1つの実習科目を複数年度にわたり履修することができる。

2. 研究課題の提出（1 年次）

5 月末日（末日が土曜日・日曜日の場合は最後の金曜日）の 18 時までに、所定の用紙に研究課題を明記し、指導希望教員の署名捺印のうえ教務課に提出してください。所定の用紙は教務課で受け取ってください。用紙の配付時期は、大学院棟 2 階掲示板に案内します。

なお、11 月下旬には修士論文の基本構想について全教員の助言を受ける基本構想発表会が行われます。

3. 修士論文の作成（2 年次以降）

（1）題目の提出

当該年度に修士論文を提出する者は、当該年度の 5 月末日（末日が土曜日・日曜日の場合は最後の金曜日）の 18 時までに、「学位論文題目提出届」に修士論文の題目を明記し、指導教員の署名捺印のうえ教務課に提出してください。「学位論文題目提出届」を提出しない者はその年度に修士論文を提出することはできません。「学位論文題目提出届」は教務課で受け取ってください。用紙の配付時期は、大学院棟 2 階掲示板で案内します。なお、5 月中旬には修士論文の構想について全教員の助言を受ける構想発表会が行われます。

また、題目の訂正が必要な場合は、9 月末（末日が土曜日・日曜日の場合は最後の金曜日）の 18 時までに、「修士論文題目変更届」に変更した題目を明記し、指導教員の署名捺印のうえ、教務課に提出してください。

（2）修士論文概要の提出

当該年度に修士論文を提出する者は、当該年度の 10 月末日（末日が土曜日・日曜日の場合は最後の金曜日）の 18 時までに、「修士論文概要届」と「修士論文概要」（400 字程度）を、指導教員の署名捺印のうえ教務課に提出してください。「修士論文概要届」と「修士論文概要」（400 字程度）を提出しない者はその年度に修士論文を提出することはできません。

なお、10 月下旬には進行状況を報告し、全教員の助言を受ける中間発表会が行われます。

（3）修士論文の提出

修士論文は 1 月末日（末日が土曜日・日曜日の場合は最後の金曜日）の 14 時までに教務課に提出してください。その際、全てをファイルで綴じ、「正本」の中表紙には「修士論文提出票／修士論文受取証」を貼りつけ、「副本」2 部、「学位申請書」、「論文目録」（必要な場合）、「履歴書」、「学位論文要旨」とともに提出してください。同時に、学位審査手数料を納入してください。なお、「学位申請書」「論文目録」（必要な場合）、「履歴書」、「学位論文要旨」の用紙は事前に教務課で受け取ってください。用紙の配付時期は、大学院棟 2 階掲示板で案内します。

修士論文の発表会及び最終試験は 2 月中旬に行われます。

なお、9 月修了予定者については、5 月に別に定めて大学院棟 2 階掲示板で案内します。

4. 修士論文の審査

(1) 修士論文の審査基準

修士論文の審査は以下の基準に基づき行われます。

- 1) 問題設定が適切で、研究目的が明確に示されていること。
- 2) 関連領域の先行研究を適切に検討、吟味していること。
- 3) 研究目的に即した方法・分析を用いていること。
- 4) 整合性がある論理展開がなされていること。
- 5) 学術論文として論文構成・分量・表現が適切で、図・表・データ・資料等が的確に明示されていること。
- 6) 研究上の倫理的配慮が適切になされていること。

(2) 修士論文の審査体制

修士論文の審査体制は以下の通りです。

- 1) 指導教員を含めた3名以上の修士論文審査委員（以下「審査委員」という。）で組織する修士論文審査委員会（以下「審査委員会」という。）を設ける。
- 2) 審査委員会は審査委員のうちから主査1名及び副査2名を選出する。ただし、主査及び副査は、本学修士課程の論文指導担当の教授、准教授でなければならない。
- 3) 審査委員会は、厳正な学位審査体制を確立し、いかなる金品の授受も行ってはならない。

(3) 修士論文の審査方法

- 1) 修士論文題目届を指導教員の承認を得たうえ、修士論文審査の申請年度の5月末日までに提出してください。
- 2) 修士論文概要届及び修士論文概要（400字程度）2部を指導教員の承認を得たうえ、修士論文審査の申請年度の10月末日までに提出してください。
- 3) 修士論文審査申請書及び修士論文1篇3部（正本1部・副本2部）を指導教員の承認を得たうえ、1月末日までに提出してください。
- 4) 修士論文審査及び最終試験の一環として修士論文発表会において、修士論文の内容を説明し、出席者と質疑応答を行います。

5. 修了要件

本学修士課程に2年以上在学して30単位以上を修得し、修士論文の審査及び試験に合格したものを課程の修了者とし、修士の学位を授与します。ただし、優れた業績を上げた者については、1年以上の在学で修了が認められています。

6. 修了者発表

修了者は、3月上旬に大学院棟掲示板で発表します。修了が認定された学生には、保証人宛に卒業式の案内をお送りします。

7. 学位

人間関係学研究科 臨床心理学専攻 修士（心理学）